

## 陸前高田の新ブランド米

### 駅弁「たかたのゆめ」



陸前高田市の新しいブランド米を生かした「駅弁」が発売されました。駅弁「たかたのゆめ」は、一関市の「斎藤松月堂」が開発した弁当で、お米はおとしから生産されている「たかたのゆめ」を使っています。「たかたのゆめ」は昨年34トン、今年は260トンと生産量が増加しており、陸前高田市の農業復興の象徴ともいえるブランド米です。駅弁には陸前高田産のカキの照り焼きや三陸産のイクラも食材として使用されています。駅弁「たかたのゆめ」は盛岡駅、一ノ関駅、さらに東京駅の改札内でも販売されます。(12/11 ニュースエコー)

## 大船渡発

### 「忍者応援隊」参上



大船渡市の保育園に「忍者応援隊」が訪れ、園児たちと交流を深めました。大船渡保育園を訪れたのは、伊賀流忍者・発祥の地として知られる三重県伊賀市・名張市の忍者集団「黒党」のメンバーら9人です。被災地の子供たちを励まそうと、震災の年から訪問活動を続けてきましたが、岩手を訪れたのは今回が初めてです。園児たちは舞台上で繰り広げられる忍者同士のバトルに声援をおくりました。また手刀



の切り方や、輪の形をした鉄輪を使った戦い方など、プロ直伝の『忍術指南』を受けました。(12/11 ニュースエコー)

## 陸前高田発

### 「山笠」&「竹とんぼ」



九州・福岡県の九州産業大学の学生が陸前高田市米崎町の学童クラブを訪れ、子どもたちに「希望のあかり」と「楽しい遊び」を贈りました。この活動は九州産業大学の学生が山車灯籠ねぶたの「灯り」で被災地を励まそうと、震災の年の冬から続けられているものです。今年は、学生たちが製作した博多の夏祭り「山笠」の神輿を子ども達に披露しました。また、竹とんぼの製作体験も行い、学生が作った竹とんぼに子供達がそれぞれ工夫を凝らして色づけし、さっそく飛ばして楽しんでいました。(12/16 ニュースエコー)



## 大槌発

### さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週はおおつちさいがいFMの道又はるかさんが大槌町の近況について伝えてくれました。まずは12月2日に、大阪・通天閣にいる幸せを呼ぶという「ビリケンさん」が一日町長として大槌にやって来た話題です。震災後恒例となっていて、今年で3年目になります。サンタの格好をしたビリケンさんは役場で一日町長の役割を果たした後、町内の仮設住宅や仮設商店街などを回り幸せを運んだという事です。また、津波で流失した安度大橋が3年後に完成予定という話題や、農業センターが来年秋までに完成するといった話題を伝えてくれました。(12/17)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibt.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122